

山之口中学校だより

平成 28 年 5 月 20 日

文責 校長

命はひとつ

5月14日午後5時35分頃、三股町樺山の沖水川で、近くの中学3年生が亡くなるという、大変悲しい出来事が起きました。

この生徒は、他の同級生5人と川で遊んでいたということですが、1人だけ流されて溺れたのだそうです。残された御家族の悲しみを考えると、胸が苦しくなります。

想像してみてください。自分の一番大事な人が、朝は元気にしていたのに、その日の夜には冷たくなっている姿を。想像するだけでも耐えられないと思います。科学技術の発達した現代ですが、その技術をもってしても、一度失われた命というものを、もとに戻すことはできないのです。

これから暑くなっていくのに伴い、このような水の事故が増えてきます。決して人ごととして終わらせるのではなく、自分の命は自分で守ることや、学校のきまりは何のためにあるのか、などということなどを深く考えてほしいと思っています。

さて、その事故が起きたすぐ後に山之口中学校の生徒会が、命についてみんなに真剣に考えてもらおうということで、「命はひとつ」という言葉をラミネートして各学級に掲示してくれました。本当にありがたいことだと感じます。

自分の父や母、祖父や祖母、たくさんの祖先たちがたった一人でもかけていたら、今の私たちは生まれてくる事ができなかったのです。私たちは、祖先たちがつないできた命のリレーの中にいるのです。どうか、世界でたった一つの自分の命を大切にしてほしいと思います。



【話し合いの様子】



【教室掲示の様子】

女子ソフトテニス部優勝、女子バレーボール準優勝

女子ソフトテニス部が、5月15日に行われた第1回都城研修大会アーリーサマーチャレンジ中学校ソフトテニス大会（団体戦）で見事優勝しました。

また、女子バレーボール部が5月14・15日に行われた第36回霧島盆地中学校バレーボール大会で、準優勝に輝きました。

中体連大会が迫ってきました。どの部も本番の試合を意識した、気持ちのこもった練習をしてほしいと思います。



【女子ソフトテニス部】

